

2008 年度

科目名 日本語学講読Ⅱ	対象学科・学年 文学部日文2回生	担当者 藤田 保幸
授業テーマ K. フローレンツ『日本文学史』の注釈的研究		
授業の概要と目標 明治時代にいわゆるお雇い外国人教師として帝国大学でドイツ学を講じたK. フローレンツは、日本語日本文学を深く研究し、ドイツ語で日本文学の通史『日本文学史』を著した。この書物は、文学研究書としてはもちろん、日本語の文章・文体の研究書として見ても、興味深いものである。この書物の内容を日本語学の観点から考察・検討することを通し、日本語学の基礎的な知識を涵養する。最初に、K. フローレンツと『日本文学史』について解説し、それから、目下翻訳を進めているので、その翻訳文の原稿のコピーをテキストとして、その内容（今回は、文献以前から奈良時代頃までになる）について検討していく。		
評価方法 毎回の授業での取り組みと出席を基礎点とし、指定された事項についての調査報告と小テストによって評価する。受講態度のよくない者に対しては、単位を与えない。		
テキスト 目下作成中のK. フローレンツ『日本文学史』の翻訳文をプリントして用いる。	著者	出版社
参考書 図書館のさまざまな資料を活用することになる。随時指示する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 導入-K. フローレンツとその業績 2～3. 調査報告の方法-資料の作り方・調査の仕方 4～14. 各人の調査報告と質疑 15. 総括と小テスト		